

事業事前評価表

1. 対象事業名

国名：セネガル共和国

案件名：バマコ - ダカール間南回廊道路改良・交通促進事業(EPISA for Africa)

貸付契約調印日：2006年3月31日

承諾金額：960百万円

借入人：セネガル共和国政府 (The Government of the Republic of Senegal)

2. 本行が支援することの必要性

アフリカ開発のための新パートナーシップ (NEPAD) を中心として、アフリカ域内の経済統合が唱えられる中、西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)及び西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS) 経済圏においても、地域全体の経済活性化の観点から、国境を越えて物流等を円滑にする運輸インフラ整備の必要性が唱えられてきている。本事業は、セネガル・マリ両国の交易の活性化に資する主要な幹線道路であるため、UEMOA の「インフラ及び道路セクターに係る域内行動計画 (PACITR)」の中で最優先事業と位置付けられている。また、本事業は NEPAD が推進する広域インフラ案件整備事業にも位置づけられている。

本事業の対象地域であるタンバクーダ州はセネガル東部の地方部に位置し、住民世帯の約 85% が農業に従事している。農業のポテンシャルはあるものの、運輸インフラの未整備等が、当該住民の経済活動促進及び生活水準向上にあたってのボトルネックとなっており、セネガルの平均と比較しても貧困度が高い地域である。また、本事業対象の既存道路では、舗装・未舗装に関わらず状況が悪い区間が多く、特に未舗装道路では四輪駆動車であっても走行速度を抑えなければ通過できない箇所もある。かかる内陸地域において、農産物等をダカールへ輸送するルートを確保することにより、市場及び社会・経済活動へのアクセスを改善させ、もって UEMOA 域内の経済活性化、経済統合推進及び主に内陸地域の貧困削減に資するために、本事業の実施は不可欠である。

セネガルの貧困削減戦略文書(PRSP)では、運輸セクターに関し、輸送コスト抑制のための輸送手段合理化、(UEMOA 域内を含む)都市間交通の強化が挙げられている。また、「運輸セクター構造調整計画 II」でも、同セクター効率化のための関係機関の能力強化、運輸施設の維持・リハビリ等を政策目標としている。本事業は、これらの開発目標にも合致する。

本行は、海外経済協力業務実施方針(2005~2007年度)において、「持続的成長に向けた基盤整備」、「貧困削減への支援」を重点分野として挙げている。また、サブサハラアフリカ地域については、債務返済能力とガバナンスが比較的良好な国に対して重点的に支援を行い、対象分野としては、国境を越えた広い地域に裨益する経済社会インフラ整備、民間セクター及び農業セクター開発等を重点分野に定めている。また、本行は、「アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアティブ (EPISA)」の下、協調融資促進の為に Accelerated Co-financing Facility for Africa(ACFA)スキームを活用して、アフリカ支援を強化する方針であり、本事業はかかる方針にも合致している。

以上より、本行が同国に対して本事業を支援することの必要性・妥当性は高い。

3．事業の目的等

本事業は、セネガルの首都ダカールと、マリ共和国の首都バマコ間を結ぶ国際幹線道路建設及び当該道路に接続する農道整備等の関連事業により、輸送能力増強及び沿線地域の基礎的社会サービスへのアクセス改善を図り、もって UEMOA 及び ECOWAS 域内の経済の活性化、経済統合推進、沿線地域の貧困削減に寄与するもの。

4．事業の内容

(1) 対象地域名

タンバクーダ州

(2) 事業概要

セネガルの首都ダカール及びマリの首都バマコ間に、国際回廊(南ルート全長約 1,000km の一部)を建設・改良するとともに、関連インフラの整備を行うもの。

土木工事：上記セネガル側ケドゥグ～ファレメ間（全長 112km）のうち、81.3km の道路整備

(3) 総事業費 32,730 百万円（うち、円借款対象額：960 百万円）

(4) スケジュール

2006 年 3 月～2009 年 4 月予定（計 38 ヶ月）

(5) 実施体制

借入人：セネガル共和国政府（The Government of the Republic of Senegal）

実施機関：道路公社（Agence Autonome des Travaux Routiers：AATR）

運営・維持管理体制： に同じ。

(6) 環境及び社会面の配慮

環境に対する影響 / 用地取得・住民移転

(a) カテゴリ分類：A

(b) カテゴリ分類の根拠

本事業は、「環境社会配慮確認のための国際協力銀行ガイドライン」（2002 年 4 月制定）に掲げる道路セクターに該当するため、カテゴリ A に該当する。

(c) 環境許認可

本事業の環境影響評価（EIA）報告書は、2005 年 12 月に環境自然保護省（MEPN）によって承認済み。

(d) 汚染対策

本事業は既存道路の改良・舗装化であり、大気汚染・騒音・振動による重大な負の影響は予見されない。また、工事中的影響については、環境社会配慮条項を施工業者の入札書類に含めて適切に対応する。

(e) 自然環境面

事業対象地域は、国立公園等の影響を受けやすい地域またはその周辺に該当せず、自然環境への望ましくない影響は最小限であると見込まれる。なお、事業開始後の流入人口の増加による自然資源の過剰利用を防止するために、地域住民等に対して環境保全に係る普及啓蒙活動を行う予定。

(f) 社会環境面

本事業により 5 世帯の住民移転が発生する見込みであり、補償は同国国内法に基づいて行われる予定。地域住民、地方政府等に対して、公衆衛生、交通安全等に係る普及啓蒙活動を行う予定。

(g) その他・モニタリング

実施機関等が、住民移転、交通事故等についてモニタリングを行う。

貧困削減促進

本事業対象地域（タンバクーダ州）は貧困度の高い地域であり、本事業による受益者には、貧困層を含む地域住民が多くを占めると考えられ、本事業の実施を通じて、地域住民の生活環境向上、経済活動促進を通じた生計向上が期待される。

社会開発促進（ジェンターの視点等）

本事業の実施により、地域住民の教育、保健等の社会サービスへのアクセス改善が期待される。さらに、全体事業の中では、参加型手法を用いた基礎的サービス施設（教育、保健、農道整備、共同水栓設置等）の改善が計画されており、地域住民のニーズに合致した事業の実施が期待される。また、コンサルティング・サービス（本行融資対象外）の TOR として、HIV/AIDS 対策、マラリア予防等の啓蒙活動が計画されている。

(7) その他特記事項

日本政府による無償資金協力との連携の可能性ある（バマコ - ダカール間の橋梁建設）。

5 . 成果の目標

(1) 評価指標（運用・効果指標）(注)

指標名	基準値 (2005 年)	目標値 (2010 年[事業完成 1 年後])
セネガル国内の通過所要時間(ダカール - ファレメ)	3 日	1 日
国境通過所要時間	1 日	2 時間

(注) 上記指標はすべてバマコ - ダカール間南回廊におけるものである。

インパクトの指標として「UEMOA 内の交易率」、「UEMOA 外との交易率」、「就学率」、「飲料水調達に要する時間」を設定している。

(2) 内部収益率

経済的内部収益率 (EIRR) : 15.2%

費用 : 事業費 (税金除く) 運営・維持管理費

便益 : 所要時間短縮、走行費の節減等

プロジェクト・ライフ : 20 年

6 . 外部要因リスク

本行融資対象外区間との円滑な接続及び事業効果発現の観点から、他ドナー支援区間の工事が遅延なく行われる必要がある。

7 . 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

過積載車両による舗装の早期損傷が過去に報告されており、本事業においては、国境監視所等

を通じた道路の劣化を抑制するための過積載規制・マナー・規則違反に係るキャンペーンを実施する予定になっている。本事業の調整を行うアフリカ開発基金（AfDF）、UEMOA と連携し、適宜、本行から同対策へのフォロー及び情報入手について働きかけを行う。

8．今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる指標

セネガル国内の通過所要時間(ダカール - ファレメ間)

国境通過所要時間

経済的内部収益率（EIRR）

(2) 今後の評価のタイミング

事業完成後